

うだちから

「うだちから」とは、宇陀に由来からある地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。このコーナーでは、市が取り組む「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。

問 政策推進課 ☎82・3910/IP ☎88・9094

1 多世代交流事業開催

～ 大宇陀政始まち協 ～

7月20日、旧守道小学校運動場で「多世代交流会・夏まつり」を開催しました。子どもから高齢者まで多くの皆さんに参加していただきました。



▲ボールすくいに夢中

2 夏休みキッズワークショップを開催

～ 榛原地区まち協 ～

小学校が夏休みに入った7月29日、榛原総合センターにおいて、子ども向けのワークショップを開催しました。地元ママさんたちのグループ「ゆるっとマルシェ」の協力のもと、9つの体験を楽しんで頂きました。



▲たくさんの方が参加



▲完成が楽しみ～

普段はなかなか作ることがないハーバリウムやアロマスプレー、レジンアクセサリーなどに子どもたちは無心で取り組みました。作り方が難しいところは、友達と相談したり、講師の先生に手伝ってもらい、お気に入りの作品が完成しました。夏休みの思い出として、いつまでも残るといいですね。



▲大人も子どもも楽しめました

3 人権教育推進事業

～ 室生地域まち協 ～

「差別をなくす強調月間」の7月に、人権教育推進事業を室生地域内の4つのまち協(室生大野・向瀬・三本松・多田)が実施しました。

内容は各まち協で工夫をこらし、専門の方からの講話をはじめ、提示された問題に参加者同士で話し合いながら答えていく学習会のほか、DVD鑑賞では人種、性別



▲様々な人権について学びました

での差別や同和問題、インターネットによる「見えない人」からの誹謗中傷による人権差別など、現代社会の様々な差別を学びました。

日頃から、地域全体で人権に対する意識や理解を持ち、定期的に事業を行うことで、各地域ともに住みやすい地域づくりを目指しています。

4 世代間交流事業

～ 笠間地区まち協 ～

7月20日、室生下笠間地区にある「下笠間なごみ会館」において、



▲リースが完成!

下笠間いきいきサロンの会が、世代間交流を行い、リース飾りの制

作とお茶会を開催しました。

当会は、まち協が発足してすぐに福祉部に属し、下笠間世代間交流事業を立ち上げ、「福祉の向上・共生社会の構築」を目的に、70歳以上の方を対象にして、季節の創作や催し・体操・歌・お茶会などを実施しながら楽しく活動しています。

この日はみんなで歌を歌い、シャボン玉を楽しみ、手遊びで十分に準備運動をしてから、涼しげな夏仕様のリース飾りを作りました。最後は、役員の手づくりの和菓子を食べながら談笑し、交流を深めるひと時を過ごしました。



▲みんな揃ってハイチーズ!

ヤマブドウ

生薬名は山葡萄^{やまぶどう}、根の皮は紫葛^{しかつ}と呼ばれ、六五九年に書かれた新修本草に記載されています。紫葛は、古くから使用されていた生薬で、整腸作用があり、肌を美しくし、血液をきれいにする作用があります。果実を食べるか、煎じて服用すると滋養強壮、補血剤となります。また、果実を瓶に入れておくと液状になるので、この液で患部を湿布するか、つるを刻んで煎じた

液を風呂に入れて入浴すると、神経痛や関節炎に効果があります。患部を果実の液で湿布し、入浴時はつるを煎じた液を入れるという方法が最もよいでしょう。焼酎などに漬けてもいいし、果実酒になります。お酒が飲めないなら、果実から種子を除き、ジュースにしたり、ジュースを煮詰めてジャムにしたり、寒天を加えてゼリーを作ったりするのもよいでしょう。



※当市で「薬草活用講演会」をしていたいた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075